

クローバー Clover

特集 職場での男女共同参画について聞きました!

- ▶ デキル男の家事マニュアル・弁当男子のお弁当拝見!
- ▶ 「とよたパバスクール」実施報告
- ▶ 第9回男女共同参画川柳優秀作品発表!
- ▶ クローバーコール・「ある日の相談室」
- ▶ まんがでちょこっとジェンダー講座

「とよた男女共同参画プラン」では、人の生涯をクローバーにみたく、それぞれのライフステージを葉の一枚で表現することとし、広く親しんでいただけるよう、通称を「クローバープラン」と名づけました。このクローバーのマークには、どのライフステージにおいても充実した生活を送ることができる「バランスのとれた社会」をめざすという意味合いも持たせています。

職場での『男女共同参画』について

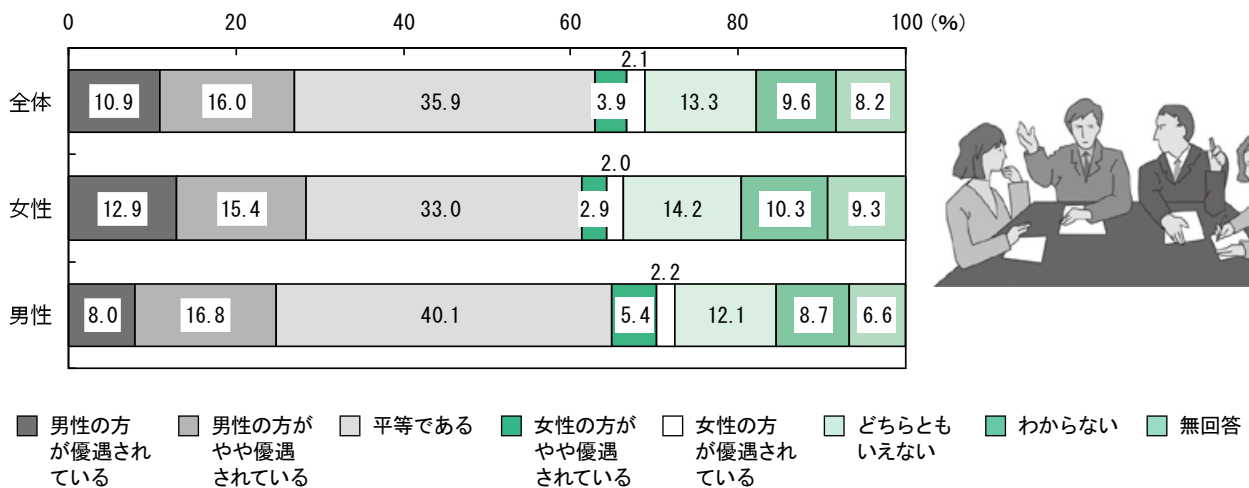
キラッ☆とよたでは、平成23年9月に、市内6,000人の男女及び300社（従業員300人以下）の事業所を対象として、職場における育児・介護と仕事の両立支援の状況やワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）に対する意識、女性の能力発揮などについて、アンケートを実施しました。ここでは、その概要を紹介します。なお、調査結果の詳細は近くキラッ☆とよたのホームページに掲載する予定です。

職場における男女の地位

男女の平等感が高まっています！

- ・ 約4割の人が、職場において「男女は平等である」と感じています。また、5年前（平成18年度）に行った前回調査に比べると、「男性の方が優遇されている」と感じている人は大幅に減り、半分くらいになっています。
- ・ しかし、「男性の方が優遇されている」「男性の方がやや優遇されている」と感じている人は依然として約3割近くいることもわかりました。

《あなたの働いている（いた）職場では、男女の地位は平等になっていますか》

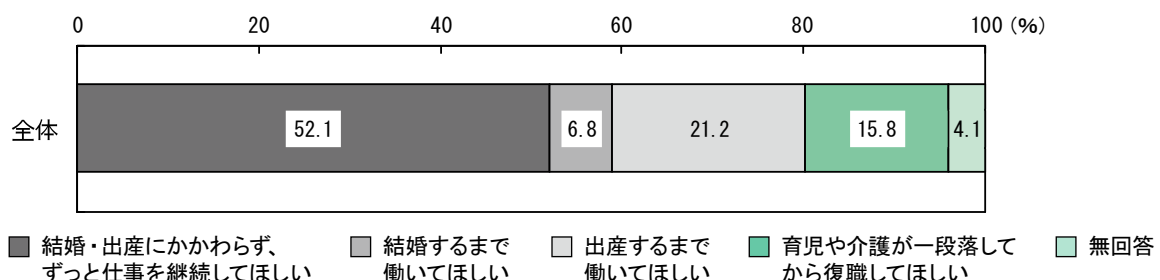


事業所が考える「女性従業員の就労について」

半数の事業所が女性にずっと仕事を継続してほしいと考えています。

- ・ 女性従業員に対して、「結婚・出産に関わらず、ずっと仕事を継続してほしい」と考える事業所が半数を上回る52%ありました。
- ・ しかし、前回の調査と比較すると、この数は減少しており、その反面、結婚・出産まで働いてほしいと希望する事業所が増えています。女性が継続就労するための事業所の理解が、あまり進んでいないこともわかりました。

《女性従業員の就労についての事業所の考え方》

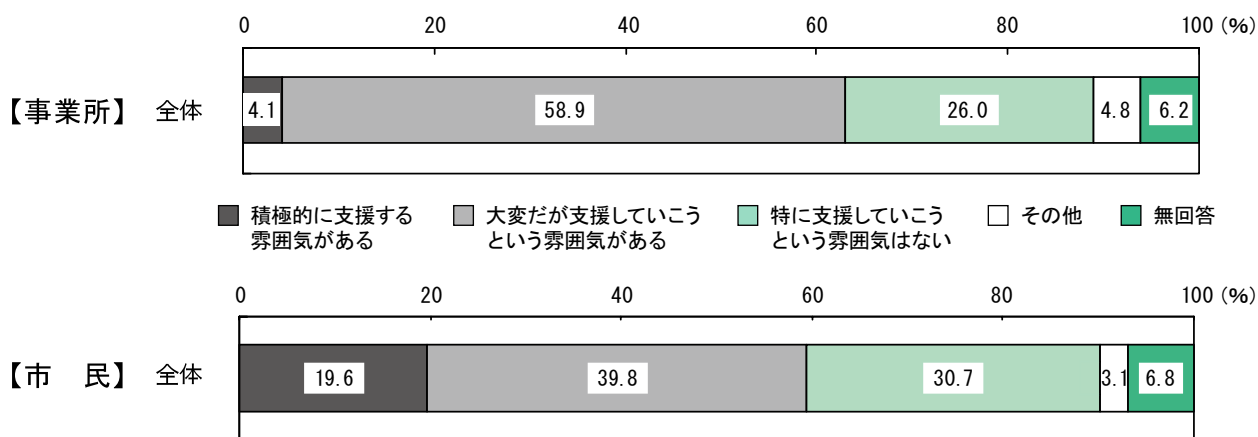


職場での「仕事と家庭の両立」の支援について

「仕事と家庭の両立」に対し、『支援していこう』という雰囲気のある職場は約6割です。

- ・ 市民アンケート・事業所アンケートともに約6割が「支援していこう」という雰囲気が職場にあることがわかりました。
- ・ 一方で、「特に支援していこうという雰囲気はない」という職場も、約3割あります。

《職場では、「仕事と家庭の両立」(ワーク・ライフ・バランス)について、どのような雰囲気がありますか》



「仕事と家庭の両立」を進めるための取組は進んでいるとは言い難いです。

《あなたの事業所では、「仕事と家庭の両立」を図るために、どのような取組をしていますか。》

回答の多い順で見ると、「特に取組をしていない」(37.0%)が最も多く、2位「総労働時間の短縮に取り組んでいる」(27.4%)、3位「一般事業主行動計画を策定している」(22.6%)、4位「未消化年休の利用を促進している」(16.4%)、5位「ノー残業デーを設定している」(14.4%)という結果でした。どの取組も3割を下回り、事業所での取組があまり進んでいないことがわかりました。今後の積極的な取組が期待されます。



今回のアンケートには多くの市民の皆さん、事業所の皆さんにご協力いただき、40%を超える回収率となりました。誌面をお借りして心より感謝申し上げます。

アンケートからは、職場における「男女共同参画」の意識は少しずつ高まってきていることがわかりました。しかし、現実的には制度の利用や女性の能力の活用についてみると、まだまだ進んでいるとは言えません。

「仕事と家庭の両立」は、「子育て」や「介護」世帯だけでなく、私たちみんなが自分の能力を活かして仕事をしたり、幸せな家庭生活を送ったりするなど、自分らしく人生を歩んでいくためには大切なことです。

さらに人生を充実させるために、働きやすい職場づくりをめざしましょう!

できる男の 家事マニュアル

VOL. 2 ごみ捨て編 ～計画・実行・分析・改善～

今回は最も男性が経験しているといわれる家事「ごみ捨て」をとりあげました。「ごみ捨て」とはすでに袋に入れられたごみを単に集積場に移動させることにあらず！まずは「ごみ捨て」たるものについて再認識！

※

【監修協力】水谷 有志さん (KAJIメンズ)

1 まず、ごみ捨てのルールを知ろう。分別について知ることははじめの一步。どんなごみをどのように分け、どんな袋に入れていつ出すのかをチェック。自治体が絵入りで分別マニュアルを出している。一度じっくり読んでみよう。

KAJIメンズ (かじめんず)
家事や子育てを楽しみながらパパ同士のつながりを地域に作ろうという集まり。名古屋にあり入会自由。

3 在庫管理の要領で、いつどんなごみをどれだけ出すか把握。ごみ出しの日は無駄なくもれなくごみを集めて回れるよう、最良の経路を考えて実行しよう。ごみを回収したあと、ごみ箱に新しい袋をセットするのも忘れずに！

【家族の人へ】

責任を持ってごみ捨てをするその行為にまず感謝の言葉がほしいところ。ますますごみ捨て業務が洗練されて家庭のエコが進み、部屋もきれいになることを期待しましょう。

2 家の中にごみ箱が適切な場所に適切な数で、これまた適切な容量のものが置いてあるかを分析。家族が集まる場所には当然ごみもたくさん出るから大きめのごみ箱が捨てやすい場所に必要となってくる。ごみ箱の位置と数と大きさは部屋をクリーンに保つカギ！

4 ごみを持って回収場所へ。誰かに会ったら恥ずかしがることなくこやかに挨拶。さわやかな好印象であなたの株はぐんとアップ。ごみ捨て実施後、改善点がないかどうかチェック。出し忘れを防ぎ、不要なものを適切に処分して快適な住環境へ向け、ごみ出しサイクルを確立しよう！

弁当男子の Lunch Time

お弁当拝見



鈴木さん

市役所勤務の鈴木成仁さんのお弁当を拝見。お弁当づくりのきっかけは、10年前母親が体調を崩し、やむなく台所へ立つようになったことだそうです。食材に冷凍食品は使わず国産の野菜にこだわった家庭の味弁当です。

☆瓜の漬物

☆デザートのカボチャ

☆四目金平 (よんもくきんぴら)

①ちくわ、こんにゃく、にんじん、ごぼうを食べやすい大きさに切る。細く、薄く切ると火の通りがよい

②①を油でいため、野菜がしんなりしたら醤油と砂糖を1：1の割合でいれ、汁気がなくなるまで炒り煮する

☆マカロニサラダ

きゅうりは輪切り、ハムは細切りにして、ゆでたマカロニと共にマヨネーズで和える

☆ヒレカツ

カツ肉に、塩こしょう、小麦粉→溶き卵→パン粉の順につけ、油で揚げる。パン粉は細びきがおすすめ



自分の好きなものをいれたり、好きな味付けにしたりできるところが、手作り弁当のよさといえるでしょう。朝、いろいろ作るのは大変なので、前日の晩御飯のとき多めに作っておいたおかずを最大限利用しているとのこと。以前は料理好きというわけではなかったという鈴木さん。今は「やってみるとけっこう楽しい」そうです。

NPO法人ファザーリング・ジャパンと

とよたパパスクール を開催しました!

～笑ってるパパってステキ～



父親であることは楽しい

「よい父親」ではなく
「笑っている父親」を増やすこと
それがFathering Japanの
ミッションです。

NPO法人ファザーリング・ジャパンとは

現役パパによる全国的に組織されたNPO団体。
“「よい父親」ではなく「笑ってる父親」を増やすこと”を使命に、父親の育児参画、働き方の見直し、企業の意識改革、次世代の育成など未来の日本に大きな変革をもたらすため、様々な事業を展開している。

1

10/23 (日)
パパの極意～イクメンが家庭も
地域も変える～

ファザーリング・ジャパン代表の安藤哲也氏を講師に公開講座として実施したため、夫婦での参加者もありました。現役イクメンの説得力のあるお話に聞き入りました。『あなたが普段行っている“ごみ捨て”は実は単なる“ごみ袋移動”ではないですか?』 ドキッとする一言でした。

2

10/30 (日)
パパも知っ得! お金と制度に
関する講座

社労士 横井さんによるパパ目線の講義でちょっとお勉強。自分(パパ)にもしものことがあったときの備え(生命保険・社会保障)や、ワーク・ライフ・バランスなどについて、横井家の経験も交えて話していただきました。時間の作り方についてもアドバイスがありました。実践できそう…かな?!

3

11/13 (日)
わくわくドキドキ パパと遠足

パパと子どもだけでバス遠足に出かけました。志賀子どもつどいの広場でゲームを楽しみ、交通安全学習センターでは交通安全を学びながら楽しく過ごしました。お昼はなんと



パパの手づくりのお弁当! どの家族のお弁当もとっても美味しそう!! 『ママなしでも意外に出かけられることが分かった』との余裕の発言も。パパ、また出かけましょうね!

4

11/27 (日)
パパは魔法使い!!
達人直伝の絵本うたライブ

東京からミュージシャンの西村なおとさんを招き、会場は熱気ムンムン! 皆もよく知っているあの絵本が、西村さんによって生きた物語になる、パパならではの読み聞かせでした。子どもたちもリズムに乗って体を揺らしていました。オススメ絵本もたくさん紹介がありました。



5

12/11 (日)
お弁当はパパにお任せ
～パパと作る飾り巻き寿司～

ハート・ひよこ・パンダを班ごとに分担して、手巻き寿司を作りました。お子さんにアドバイスしながら包丁を握るパパがとても頼もしかったです。もちろん、できあがったお寿司は、思い出に残る最高の一品でした。食事の皆の笑顔も最高! でしたよ。



- 子どもと向き合う時間がたくさん取れてよかったです!
- お弁当を作る第一歩を踏み出せました! など、うれしい声をたくさん聞くことができました。受講生は今後も活動を行う予定です。「いいじゃん」と思ったあなた、次は一緒に活動してみませんか。

※キラッ★とよたへお問い合わせください。

第9回 男女共同参画川柳 優秀作品発表！

今年で9回目となる男女共同参画川柳募集、今回は928人から1,218作品の応募をいただきました。

東日本大震災の甚大な被害から復興に向けた「協同」や「連帯」を感じさせるものからほほえましくも感動的なものまで、様々な作品が寄せられました。

10月23日に開催された「さんかくフェスタ2011」の中で優秀作品の表彰式が行われました。優秀作品の一部を紹介します。



入賞



将来の 働く私に エール注入
共に生き 共に働く 姿あり
父と母 役割変えて つらさ知る
がんこ爺 流しに運ぶ 一歩かな
いつの間に 息子の家事業(わざ) 母を越え



ベストカップル賞



料理教室 通う夫を 笑顔で送る
パパ料理 恋しくなった 妻の味

森山 文子
森山 幸柁

キラッ☆とよた賞



同権は 先進国の パスポート

八木 和枝

キラッ☆とよた賞

家事介護 夫が息子に 伝授する

小木曾 祐子

豊田市教育委員会賞

ほめる程 うでを上げてく おとうさん

安藤 航平

豊田市議会賞



家事仕分け ママぼくパパで ワークシェア

豊田 守男

豊田市長賞



男女差が 減って増えてる 選択肢

加藤 雪子



男女共同参画川柳優秀作品集を作りました。ご希望の方は、『キラッ☆とよた』まで！

「クローバーコール」

女性であることや、妻・母の役割を意識しすぎて

『自分の道を自分で決めること』を

忘れかけたり、諦めたりしていませんか

夫・子ども・親・友人・・・

人間関係に戸惑ったり

不安を抱えたりすることはありませんか

平成22年度、クローバーコールには約950件の電話相談が寄せられました。家庭や職場での対人関係の相談が多くを占める一方、自分の生き方や健康のこと、暮らしの悩みなど、相談内容はさまざまです。

クローバーコールはこれからも相談者に必要な情報の提供や相談を通し、女性一人ひとりが自分らしく生きるため、自らの力で選択していくことを支援していきます。

わたしが、わたしらしくいるために

いまでできることを、一緒に考えましょう



(0565)

クローバー

33-9680



秘密厳守・無料・匿名

相談日 / 毎週火・木・金・土曜日 10:00~16:00

毎週水曜日 10:00~13:00 16:00~19:00

【年末年始・祝日休み、面接相談あり(要予約)】

—ある日の相談室—

結婚して30年。夫は家では男尊女卑の考え方で、私の気持ちや意見を聞くような人ではありません。私が話しかけても無視をするか、応じてても舌打ちや溜息をつくので、いつも心臓がドキドキしてしまいます。家事を一生懸命やっても「お前は働きもせずいい御身分だ」と言います。先日は私が大事にしていたカップが無いので夫に聞くと「そんな物は知らん。俺には関係ない」と全くとりあってくれません。後にカップがゴミ箱に捨てられているのを目にし、やりきれない気持ちになりました。夫は外面がいいので、親戚に相談しても「あんないい人がそんなことをするはずがない」と信じてくれません。私は、誰にも認めてもらうことができず、何の価値もない人間のよ

うに思えて苦しくなっています。私はどうしたらいいのでしょうか。

安心して話もできず、否定的な対応をされていたら自信がなくなるのも当然ですよ。モラルハラスメントという言葉をご存知でしょうか。言葉や態度で繰り返し相手を攻撃し、人格の尊厳を傷つける精神的な暴力のことです。これ以上、あなたが傷つけない事を考えていきましょう。夫の言動に振り回されないためには「夫との距離」も大切ですね。これからのあなたが、少しでも楽になるためには、どんなことが考えられますか。

(相談内容から創作したものです)

『女の子』と『女性社員』



女性社員のことを、柴田さんは「女の子」、横田さんは「女性」と呼んでいますね。あなたはどちらで呼びますか？呼ばれますか？

その後柴田さんは…

「うちは女の子に業務を任せるのは不安だから、サブ担当がほとんどだよ。それで辞めてもらったほうが産休もないし、引継ぎもないから得じゃないか?」と言っており、

横田さんは…

「補助的な仕事しかさせない会社のほうがよっぽど余裕があるんじゃないの？仕事の出来る人なら男でも女でも一緒に、彼女は仕事に人一倍責任感があるし、一からまた育てるよりよっぽど安上がりだ。」と言っています。

結婚または出産後も責任をもって仕事を続けたいと思う女性は多くなりましたが、職場環境のため、退職する人がまだまだたくさんいます。性別に関わらず自分の能力を最大限に活かせる職場にすることで、優秀な人材が確保されること、また産休を取った人の仕事を職場で支えあう経験を通じて結束力が高まったり、ムダをなくし効率的な事務・作業を考える機会にもなります。社内の雰囲気も会社も、生き生きするきっかけになるのではないのでしょうか。

「女性が産休・育休を取り、働き続けること」について皆さんの会社の雰囲気はいかがでしょうか？

男性のための電話相談室

メンズコール☆とよた

毎月 第2・第4金曜日
18:00~20:00
(年末・年始・祝日休み)

お電話ください!
(0565)
37-0034
(秘密厳守・無料)

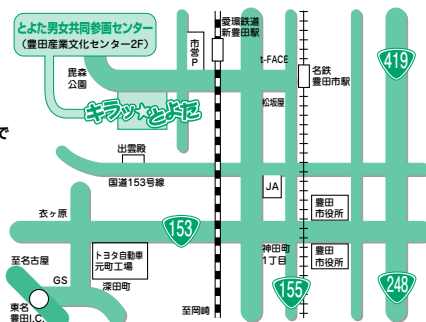
あなたの声をお聞かせください!

掲載してほしい情報、取り上げてほしいテーマや本誌をご覧になったご意見・ご感想などあなたの声をお寄せください。

キラッ☆とよた (とよた男女共同参画センター)
〒471-0034 豊田市小坂本町1-25
豊田産業文化センター2階
TEL (0565)31-7780 FAX (0565)31-3270
E-mail clover@city.toyota.aichi.jp
ホームページ http://www.hm4.aitai.ne.jp/clover/

キラッ☆とよた(とよた男女共同参画センター)のご案内

アクセス: 名鉄豊田市駅から
徒歩8分
愛知環状鉄道新豊田駅
から徒歩3分
開館時間: 9:00~21:00
日曜日は17:00まで
月曜日休館
(祝日は開館します)



夜間も開館しています!
お仕事帰りにも
ぜひお立ち寄りください

編集後記

今回で2回目になる「職場における男女共同参画の意識調査」を特集で取り上げました。皆さんは結果をご覧になりどう思いましたか？

前回と比べて女性の男女平等感が高まったことをうれしく思いました。女性も男性と同じように活躍できる職場が増えるといいですね。